

●事例●

名大生は全スタッフの約1/3 名大生が活躍している生協店舗・食堂

柴山 実

(名古屋大学消費生活協同組合 専務理事)

名大生協の概要

名古屋大学消費生活協同組合(以下、名大生協)は、名古屋大学の学生、院生、教職員が出資し、利用し、運営する組織です。現在、三つのビジョンと五つのアクションプランをもとに運営をすすめています。出資金は約四億五千万円で、食堂・購買・旅行サービス・書籍・印刷・共済の各事業を行っています。二〇〇八年度の供給高は、約五一億ですが、二〇〇九年度はこの不況化の影響もあり厳しい経営となっています。

全職員数の約1/3が名大生

名大生協では、組合員の声を生協店舗に生かすこと、出資・利用・運営という生協組織を機能させるひとつとして、名大生の就業を重視しています。現在、働いている職員は、正規職員とパート・アルバイト含めて約四五〇名。その内、約一四〇名が名古屋大学の現役の学生です(現在、南部食堂が改築工事のため、若干数が減っています)。実際、生協の店舗を見ているとそんなに現役の学生が働いているように見えません。人数的には生協で働いている職員三名見れば一名は名大生ということになります。当然のことながら、講義・実験等があるのでお昼の時間に働いて

(常時：2009年11月現在)

店舗	部門	男子	女子	内留学生
北部食堂	食堂	28	14	
北部購買	購買	3	2	1
IB カフェ	食堂	2	5	
ダイニングフォレスト	食堂	24	7	
理系ショップ	購買	3	4	2
ブックスフロンテ	書籍	2	3	
カフェフロンテ	食堂	1	5	
レストラン 花の木	食堂	3	1	
フレンドリー南部	食堂	3	5	
ケータリング	食堂	5	6	4
南部購買	購買	6	0	
プランゾ	購買	2	1	
サーバ管理	本部	3	0	
合計		85	53	7

(随時、季節で主なもの)

種類	頻度	男子	女子	内留学生
生協通信袋詰め	月1回	平均6	平均4	5～6
TOEIC 試験監督官	年8～10回	15～35名。受験者数による		
英語試験監督官	年3回	45		
新学期スタッフ	2～4月	15	8	2

名大生スタッフ

いる名大生は少ない（いないわけではありません）こと、また自分たちのスケジュールにあわせて働いていただいていますので、パートさんなら一人ですむところも、複数名で対応することも多いので、人数的に多くなっています。食堂の厨房内で働くメンバーも多いこともあり、表から見えない部分もあります。

名大生が活躍している店舗・分野

学生ですから本業は学業ですので、生協で働ける時間は制限されます。生協店舗で一番忙しい時間帯（お昼）は一部食堂の短時間ヘルプをのぞいては多くはありません。午前七時三〇分からの購買店舗の開店準備や、夕方からの食堂・購買営業でお願いすることが多くなります。一番活躍しているのは食堂です。とりわけ、夕方五時三〇分過ぎの営業する食堂のスタッフの大半が名大生です。調理、出食、ホール清掃、閉店処理等を行っています。購買では、朝の品出し作業、レジスタッフ、POP書き、店舗清掃、閉店処理を行っています。カフェは業務全般、書籍では夕方の営業対応を行っています。常時仕事があるということではないですが、名大生協のサーバ管理業務も大学院生が定額で行っています。サーバ管理ではメールアドレスの発



みえます。TOEIC試験監督官や英語試験監督官でも活躍していただいています。時間帯と専門性の関係でパソコン関係のカウンター業務、旅行サービス、外販を主とする印刷では名大生を採用はしていません。

各職場によって賃金は異なりますが、通常のパートさんより高い設定をしている部門（食堂）と、高い時間帯（朝早く、夜遅い）での採用が多くなっています。

就業内容

朝の特定の時間だから、短時間だからというものでいい加減な対応とならないように通常のパートさんあるいはそ

行、メーリングリストの管理、サーバーの稼働状況に伴う提案、停電対応、トラブル対応等を行っています。毎月発行している生協通信という広報誌の袋詰め作業も、臨時で募集しています。このアルバイトは月末ですが、募集をかけるとすぐ集まります。約一〇名で作業しますが、留学生在がほしい五〜六名

れ以上の対応をしています。名大生協の使命や各店の役割について話をするとともに、接客業として基本の接客姿勢、接客八大用語の唱和等も行い、お客様に接することについて考えて対応していただいています。とりわけ、学内にある生協の職場ですので、働いている学生の知り合い、友人も来店されます。「友達にご飯ないしおかずを大盛にすると、そのあとはどう思うか。」「友達なのに、全く知らない方と同じに扱うのがいいのか。」等も考えていただいて、きちんと接客できるように各職場で運営をしています。いくら優秀とはいえ、時間にルーズな学生さんはあとと他のスタッフとの関係で問題になるので採用いたしません。

夕方営業の大半をしめる食堂では、月に一度アルバイト会議を閉店後の食堂で開いています。時間的には夜九時から一時間程度ですが、今月の利用が多いのか、すくないのか、その原因は何か、また店長ないし主任から提起する課題（お店作りやホール清掃、衛生管理、サービスはどうあったらいいのか）をグループにわけて検討しています。生協の経営面をアルバイト会議で考えるだけではなく、日々の運営でもやっています。調理して残ったものは廃棄ロスになります。そのロス額が一定基準より多いスタッフ

<3つの使命>

- ①私達は安心・安全かつ信頼される商品やサービスの提供を通じて、組合員一人一人の健康的で豊かなキャンパスライフを支えます。
- ②私達は勉学・教育・研究生活をサポートし、学び・体験の共生空間を広げます。
- ③私達は名古屋大学における研究・教育の発展を願い、協同組合の活動を通じて人間性と科学の調和的発展に貢献します。

<5つのアクションプラン>

- ①名古屋大学の福利厚生施設のより一層の充実で豊かなコミュニティづくりに貢献します。
- ②学生生活及び教育研究勉学サポート活動での充実で学園生活に貢献します。
- ③大学内でのエコキャンパスづくりに貢献します。
- ④大学と協力して地域に開かれた大学づくりに貢献します。
- ⑤学内の諸団体と協力して人と人と協同と参加を広げます。

名古屋大学生協のビジョンとアクションプラン

にはその業務からはずれていただきます。しばらく期間を置いて、挽回するチャンスも与えます。また、不定期ですがアルバイトスタッフが考えたメニューを提供することもあります。その中で成長がめざましい方には、年一回、店長が判断し、五〇円単位で時給をアップします。これは経験年数だけではなく評価項目にもとづいて、働いている名大生が納得する形（公表）もしながらやっています。

メリットとデメリット

名大生にとつてのメリットは何といつても生協店舗という極めて職場が近いということがあげられます。アルバイト先に移動する時間が節約できます。日によつての時間の調整もなんとかできること（対応する正規職員が大変です）、また、名大生が多い職場では、先輩からいろいろなことが学べます。先輩の仕事する姿勢そのものが、後輩へ伝わっていきます。

生協店舗にとつてのメリットは名大生は優秀であり、物覚えがはやいことがあります。一方でどんな優秀な学生さんでも必ずいなくなるということがあります。毎年入れ替わるのです。三月にはいなくなり、一定人数がすくないなかで対応したあと、四月にいきなり新しい人がはいつてき

ます。新学期で一番忙しい中で、新人を募集し採用し教えて即戦力とすることが担当職員、先輩アルバイトにかかってくると思います。ですが、その期間が先輩職員にとって一番成長できる時期でもあります。自分の仕事を新人に教えることは、自分が働いていることの意味や作業内容がいまいでは引き継ぐことはできないからです。また、教育実習等で一定期間不在になることもあります。その部分も埋め合わせなくてはなりません。

名大生は学生生活のプロ

学生スタッフは身近な組合員でもあります。生協職員がわからないことや疑問に思ったことをすぐに聞くことができる頼りになる存在です。学生生活のプロとして一番頼りになるのが、新入生と応対するときでしょう。名古屋大学での学生生活に一番詳しいのは現役の学生です。生協では、学生委員会組織が仲間づくり企画等で新入生の相談にも乗っています。ですが、事業にかかわる分野で、新学期アドバイザースタッフとしても学生スタッフに大いに力を発揮してもらっています。例えば、大学のパソコンの使い方については、実際に提出されたレポートや宿題等に基づいてパソコン講座を組み立てています。理系や文系では求められる

機能が違うのでそのことを講座に反映しています。講座の実施後にはビデオ内容もチェックしながら、次の講座へ生かすこともしています。

最後に

格差社会の広がりや昨年のリーマンショック以降の不況から、経済的苦学生が過去のことではなく、復活し増えています。お値打ちな商品やメニューの提供だけではなく、これまでに述べたような働く場の提供を通じての経済的支援と貴重な就業体験の場として今後も続けていきたいと思えます。二〇一〇年春には新しい南部食堂も完成し、南部地区の食堂の役割を見直します。そこでも新たな学生スタッフが大いに活躍出来る場を提供していきます。

学生スタッフの声

【北部食堂】

工学部物理工学科三年 小林哲也(コバヤシ テツヤ 男)
北部食堂にバイトとして雇われてから、もうじき三年になる。

大学に入るまでは、自炊なんて考えもしなかった僕であるが、一年生の時に飛び込んだこの職場で料理の楽し

さを知った。北部食堂で料理を作り、家に帰ってはまた作った。コンビニの弁当にはない美味しさである。

職場は、大学の学部の一年生から四年、大学院の一年二年、ドクターの方も働いているので、何もわからない状況から仕事をしっかりと教えてもらえ、バイトの事だけではなく、同じ学科の先輩には学業の面でもお世話になっている。

仕事で怒られることもよくあるが、バイトが終わればそのまま飲みに行ったり、みんなで旅行に行ったりと、先輩とも後輩とも楽しく大学生活を送っている。

お客様の笑顔が見られたら嬉しいし、仕事にやりがいもある。

北部食堂の事が好きだし、もつと皆さんに利用していただけのように、後三年間、卒業まで頑張っていこうと思っています。

【IBカフェ】

文学部一年 永和田祥子（ナガワダ ショウコ 女）

私は今、名大生協のIBカフェで働いています。

現在IBカフェは、七人のバイトと四人のパートさん、そして主任で成り立っています。

少人数ではありますが、その分和気あいあいとしていてとても仲が良い仕事場だと思います。今まで短期のバイトしか経験がない私は、バイト先の人と仲良くなるということがなかったので、IBカフェが自分の大学での一つの居場所になってとても嬉しいです。

また、IBカフェに入ってから、自身のバイトに対する姿勢が変わったような気がします。今までは、バイトというと言われたことを黙々とこなすだけでした。ですが、IBカフェに来てから、どうやったらお客さんに快く思ってもらえる接客ができるか考えるようになったり、自らするべきことを探すようになったりになりました。これからも、IBカフェで働きながら得られたことを、自分の糧にしていけたらと思います。

※名古屋大学生協では学生の就業体験の場の提供の他にも、「学生奨学制度充実」を目的として名古屋大学に寄付をしています。詳しくは

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global/info/info/20091217.html>

http://www.2.jimu.nagoya-u.ac.jp/gakunubu/soucyou_kensyuu/